

市議会だより

発行／下妻市議会 発行責任者／議長 原部 司 編集／広報広聴委員会
〒304-8501 下妻市本城町2-22 電話(0296)43-2111(代) 内線1111・1112

今月号のあんない

定例会	2
一般質問	3~9
訪問・視察	9
行政視察来訪	10
議会日誌	11

素直な心もち よさや能力を進んで発揮して ともに輝く子どもの育成



～学校紹介～ 【総上小学校】



総上小学校は、全校児童120名の小規模校です。児童数が少ないこともあり、どの学年の児童も顔見知りで、休み時間は学年に関係なくみんなで仲よく遊んでいます。また、本校では、地域や外部講師の皆様にご指導いただきながら、2・5年生が稲作を行い、3年生が国蝶「オオムラサキ」の飼育を行っています。さらには、朝の時間に、外国語学習や地域のボランティアの皆様による本の読み聞かせを全学年で取り入れています。

これからも、「**ふ**れあい **さ**えあい **か**んしゃしあい **み**んなで伸びる総上っ子」のスローガンのもと、家庭や地域の方々と手を取り合って、子どもたちの健やかな成長のために支援にあたっていきたいと思います。

こんなことが決まりました

令和元年第2回定例会議決一覧表

事件の番号	件 名	内 容	議決月日 結 果
報 告 第4号	専決処分の報告について「損害賠償について」	道路管理に係る事故による損害賠償金の支払いについて専決処分したもの	6. 4 報告のみ
報 告 第5号	専決処分の報告について「損害賠償について」	市有車の接触事故による損害賠償金の支払いについて専決処分したもの	6. 4 報告のみ
報 告 第6号	平成30年度下妻市一般会計継続費繰越計算について	一般会計継続費繰越計算について、地方自治法施行令の規定に基づき報告するもの	6. 4 報告のみ
報 告 第7号	平成30年度下妻市一般会計繰越明許費繰越計算について	平成31年第1回定例会において、担い手確保・経営強化支援事業など繰越明許の議決をされた事業について、地方自治法施行令の規定に基づき報告するもの	6. 4 報告のみ
報 告 第8号	平成30年度下妻市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算について	平成31年第1回定例会において、公共下水道事業など繰越明許の議決をされた事業について、地方自治法施行令の規定に基づき報告するもの	6. 4 報告のみ
報 告 第9号	専決処分の承認を求めることについて「下妻市市税条例等の一部改正について」	地方税法等の一部改正に伴い、寄附金税額控除における規定を整備するなど、下妻市市税条例等の一部を改正することについて専決処分したもの	6. 4 承 認
報 告 第10号	専決処分の承認を求めることについて「下妻市国民健康保険税条例の一部改正について」	地方税法等の一部改正に伴い、課税限度額において基礎賦課限度額を引き上げるなど、下妻市国民健康保険税条例の一部を改正することについて専決処分したもの	6. 4 承 認
議 案 第29号	改元に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	改元に伴い、現行条例に改元の日以降の期日が「平成」で表記されているものについて、対応する「令和」の表記に改正するもの	6. 1 4 原案可決
議 案 第30号	下妻市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に合わせて、準拠する条例の改正を行うもの	6. 1 4 原案可決
議 案 第31号	下妻市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	法令の改正に合わせて、災害援護資金の貸付けに保証人に関する規定を追加するなど、準拠する条例を改正するもの	6. 1 4 原案可決
議 案 第32号	下妻市介護保険条例の一部改正について	介護保険法施行令等の一部改正に伴い、非課税世帯に対する介護保険料の軽減を規定するもの	6. 1 4 原案可決
議 案 第33号	令和元年度下妻市一般会計補正予算（第1号）について	強い農業・担い手づくり総合支援交付金の計上等により7,188万6,000円を増額するもの	6. 1 4 原案可決

人 事 議 案

諮 問 第1号	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて	現委員の蔵持薫氏が任期満了となることから、引き続き同氏を委員に推薦することについて、議会の意見を求めるもの	6. 1 4 同 意
------------	--------------------------	---	---------------

※賛否の分かれた議案等について、市ホームページ上で各議員の賛否を公開しています。

令和元年第二回定例会

一般質問

今定例会では、11名の議員から市政各般についての一般質問が展開されました。要旨は、次のとおりです。

一般質問者の氏名・項目は次のとおりです。

(通告順)

1 岡田 正美 議員

- 1 この4月から始まった市役所夜間窓口開設や各種の新規事業や改善事業の現状と今後について
- 2 交通安全対策の現状と課題について

2 増田 省吾 議員

- 1 子供達に夢のある未来を！街としての機能を高め、人の賑わい、交通アクセスの整備、かつての都市計画の再チェック、今後の再整備への考えを伺いたい

3 宇梶 浩太 議員

- 1 国体開催について
- 2 ビアスパークしもつまの指定管理者変更後の現況について

4 斯波 元気 議員

- 1 新市庁舎における子育て支援の総合窓口について

5 平井 誠 議員

- 1 医療体制の充実を求めて
- 2 加齢性難聴者の補聴器購入に助成制度の新設を求めて
- 3 子育て支援策の拡充について

6 平間 三男 議員

- 1 旧東部中跡地プールについて
- 2 熱中症対策について
- 3 未来戦略会議について

7 小竹 薫 議員

- 1 公共施設における太陽光発電等の設置に関する当市の考えを問う

8 矢島 博明 議員

- 1 タイプ室・電話交換室の扱いについて
- 2 プロ意識をもった市政運営について
- 3 サンビーチの今について

9 程塚 裕行 議員

- 1 庁舎等建設について
- 2 学習支援事業について

10 山中 祐子 議員

- 1 県立中高一貫校について
- 2 教育環境の充実について
- 3 外国人材の受け入れについて

11 塚越 節 議員

- 1 リノベーション社会の実現に向けて、空き家及び古民家の活用について
- 2 ふるさと博物館の機能充実の一方策



岡田正美 議員
〔二括方式〕

市役所夜間窓口開設や 新規・改善事業の現状 と今後について

質問

市長は新規施策や各種事業の改善に着手し、様々な課題に取り組んでいる。そこで、夜間窓口及びピアスパークの地ビールや農園と道の駅の改築後の費用対効果について伺う。

また、夜間応急診療の廃止が示されたが、廃止の前に医師会や関係機関との協定などが必要であると考え、見解を伺う。

答弁

夜間窓口は試行期間を1年として毎月第1、第3木曜日に開設している。利用しやすくなったという声もあり、今後は利用状況等を勘案し、市民ニーズに合う内容とすることを検討していく。

次に、ピアスパークは4月から新指定管理者となり、地ビールの販売については、税務署の許可がおり、

販売できることになった。また、農園は市内の若手農家のグループに委託し、収穫作物の販売や収穫体験などを計画している。

次に、道の駅の利用者数と平均売上高はリニューアル前より増えており、地域交流拠点として一層活気が生まれ、好評を得ており、リニューアル効果はあったと考えている。

夜間応急診療所は、受診者数の減少や新庁舎建設計画において保健センターの複合化が検討されていることから、遅くとも新庁舎建設までには廃止の方向で検討を進め、市民が不安や心配を抱かないよう、医療相談体制について対応策を検討する。また、期間をかけ、丁寧な周知に努め、理解を得たいと考えている。



今年度から始まった夜間窓口の様子



増田省吾 議員
〔二括方式〕

街としての機能を高め、 人の賑わい、交通アクセ スの整備、かつての都市 計画の再チェック、今後 の再整備への考えを伺い たい

質問

かつての県の都市計画構想のグレートーつくば構想やハーマニーヒルズ計画、筑波ハイテクフォーラム計画などは街としての機能を高める魅力ある計画であった。この計画が頓挫していることについてどのように考えるか伺う。

答弁

常総線沿線の開発構想であるハーマニーヒルズ開発整備計画は平成4年度に県が当時の下妻市、千代川村、石下町、水海道市及び住宅都市整備公団と共同で策定した計画で、圏央道やつくばエクスプレスの開発インパクトを生かした一体的な都市構造の形成を目的としていた。し

かしながら、事業主体として想定していた住宅都市整備公団、現在のUR都市機構の住宅開発などの業務見直しにより、事業化が困難とされたことに加え、複合都市開発計画の筑波ハイテクフォーラム計画において、民間の大手開発業者が平成10年4月に撤退したことに伴い、ハーマニーヒルズ開発整備計画の推進が困難となった。その後、平成18年度に常総線沿線開発方針策検討調査を行い、これまで計画になかった交流人口の拡大を位置づけ、地域の魅力づくりを推進することとして、計画の改定をしている。現在の社会情勢を考慮すると、頓挫した民間企業を事業主体とする開発計画の再整備は考え難いと判断し、今後は都市の成熟に合わせた整備を展開していくことが求められると考えている。



常総線沿線自治体との広域連携により
交流人口の拡大を図る



宇梶浩太 議員

〔二 括 方 式〕

国体開催について

質問

9月29日から3日間の予定でソフトボール少年男子、少年女子の部が開かれる。本国体に向けた今までの本市の取組や実績、大会までにやらなければならないこと、宿泊施設の確保や料金の設定について伺う。

答弁

茨城国体開催が決定後、準備委員会を立ち上げ、各イベントにおいてブースの出展や郵便局の協力のもと、国体記念切手の発行や下妻駅前に黄色のラッピング郵便ポストを設置するなどPR活動に力を入れている。また、のぼり旗を1本につき千円の協賛を募り、市内全域で623本の協力と大会運営ボランティアには予想を上回る235人の登録があり、市民の認知度の上昇とソフトボール競技への関心も高まってきたと考えている。

大会では、全国から応援や観戦



下妻駅前に設置されたラッピング郵便ポスト

に訪れる来場者に市の特産品をPRするよい機会であることから、ふるまいコーナーを設け、J-A常総ひかりなどと準備を進めている。また、市民団体等の協力を得て国体盛上げ応援団を結成するとともに、市内小中学校の児童生徒による学校応援を予定している。

宿泊施設は一括で管理する合同配宿方式を採用しており、ピアスパークは競技役員が宿泊予定であり、選手は筑波山の宿泊施設が割り当てられる予定である。料金については県実行委員会が定めた要項により決定される予定である。



斯波元氣 議員

〔二 問 一 答 方 式〕

新市庁舎における子育て支援の総合窓口について

質問

新庁舎では保健センターと子育て支援課が隣接する計画となっている。そこで新規事業の子育て世代包括支援センターは子育て支援の総合窓口となるのか、その事業内容と子育て支援課内に設置されている家庭児童相談室との関係を伺う。

答弁

子育て世代包括支援センターの必須事業の1つ目は実情把握で、母子を取り巻く環境を総合的に把握し、必要な支援を入れるため、母子健康手帳の交付時や転入時の保護者面談は必ず保健師等の専門職が対応するとしている。2つ目は相談業務で、住民が気軽に立ち寄ることができる相談対応と求められる情報を把握、提供し、不安解消につながる助言や指導等の支援を行うことである。3つ目は支援プラン

の策定で一人一人にあった支援を行い、特に心身の状態や家庭環境等のリスクの高い妊婦については県や医療機関との連携を密に支援していくことである。4つ目は関係機関との連絡調整で、ネットワークづくりを充実させ、また、本人の同意や個人情報保護の保護に十分配慮していくことである。

子育て世代包括支援センターでは相談受付窓口として相談を受け、支援内容により、家庭での虐待等を含めた相談事案に対応する家庭児童相談室をはじめ、関係機関等にスムーズにつなげ、情報を共有、連携できる体制づくりを目指すとしており、現在のところセンター内に開設する予定はない。



誰もが気軽に相談できる体制が求められている



平井 誠議員
〔二括方式〕

医療体制の充実を求めて

質問

保健センターで行われている夜間応急診療所について、休日の夜中でも医師がおり、電話相談で安心できることあるので、新庁舎においても継続して欲しい声がある。市民の命、健康を守るという立場から夜間応急診療事業は続けるべきであるが、見解を伺う。

答弁

夜間応急診療所は昭和61年に小児科及び内科診療が受けられる診療所として開設された。近年、市内及び近隣の医療体制が充実し、緊急告示病院も増えてきたこと、筑波大学附属病院からの小児科医の派遣が廃止されたこと、医療機器の老朽化による必要な検査等が困難になったこと、他の病院を紹介する件数が増えたことなどにより、受診者数は減少しており、運営にかかる経費は、約1600万円と高



夜間応急診療所が開設されている保健センター

額で今後も財政負担が大きくなることが予測される。さらに、最低限の検査、診察及び医療行為しか提供できない現状では適切な診断を下せないといった医療安全上のリスクが伴う懸念もある。これらのことや新庁舎建設計画で保健センターの複合化が検討されていることから、夜間応急診療所を廃止し、新庁舎にはその機能を設けないこと、廃止後の市民の医療・相談体制の確保は早い段階で検討していくことが保健センター運営協議会から答申された。この答申を受け、遅くとも新庁舎建設までに廃止することで検討を進め、対応策と丁寧な周知を行い、理解を得たいと考えている。



平間三男議員
〔二括方式〕

旧東部中跡地プールについて

質問

前定例会で旧東部中のプールは老朽化しているが、施設の安全面・衛生面について、委託業者確認により安全確認をして水泳授業を進めていくという答弁があった。しかし、結果的に大宝小のプールの共同利用となった。方針変更の経過と中学生が小学校プールを使用することについて、生徒の安全安心は確保できるのか伺う。また、旧東部中跡地プールは民有地借用であることから速やかに返却、解体をすべきであるが見解を伺う。

答弁

東部中の水泳授業は今年度も跡地プールを借用する予定であったが、年度末の再点検の結果、安全面に問題があり、コンクリート素材露出が改善するには多額の補修費用が見込まれるとの報告があった。衛生



東部中学校の水泳授業が行われた大宝小学校プール

面については、水質基準内で管理しており問題はないが、安全な水泳授業を行うことは困難と判断し、プール水槽の防水塗装が良好な大宝小プールを共同利用することに変更した。また、小学校と中学校のプールの大きな違いは水深であるが、小・中学校とも飛び込みによるスタート指導はしていないため問題は少ないが、トイレ・更衣室等の規格が合わないことから使い勝手が悪い部分もあると思われる、本年度の授業を通して問題点の把握と改善に対応していく予定である。次に、借地の返却、プール解体については、借地の目的が消滅することから、できるだけ速やかに対応していく。



小竹 薫 議員
二問一答方式

公共施設における太陽光発電等の設置に関する本市の考えを問う

質問

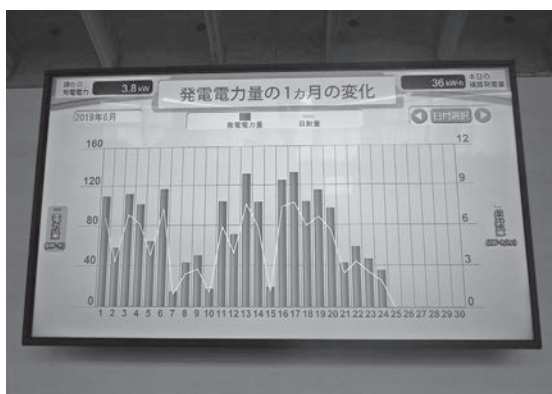
新築された下妻中には太陽光発電パネルが設置されている。そこで、年間の発電量や使用量及び児童・生徒の環境教育への活用について伺う。また、新庁舎建設計画における自然エネルギーの利用についても伺う。

答弁

下妻中の太陽光発電の年間発電量は全使用量の約10%を賄っている。それらはディスプレイに表示され、エネルギー発電量を目にする事ができ、そのエネルギーが使われていることを実感することで省エネルギーへの関心が高まっていると考えている。また、ディスプレイのない学校においては、学習指導要領に沿った学習においてエネルギー資源の利用を学習している。

次に新庁舎建設では、下妻市庁

舎等建設基本構想の基本方針の一つに、環境に優しい庁舎とあり、豊かな自然を守るため、自然エネルギーの活用や省エネルギー設備の導入等、環境に配慮した庁舎をつくるとしている。また、基本計画では、自然採光や自然換気による省エネルギーや再生可能エネルギーの採用を積極的に検討し、環境にやさしい庁舎とするとしている。具体的な仕様や設備については、今後、検討を進めることになるが、太陽光発電など再生可能エネルギーに関する取組みは、地球環境の温暖化防止や発電電力の庁舎内利用など、新庁舎建設において必要な対応であると考えている。



下妻中学校内に設置されているディスプレイ



矢島博明 議員
二問一答方式

サンビーチの今について

質問

サンビーチ廃止後、跡地については市民の関心が高いところである。廃止の決断を支持するとともに新しい施設に期待をしている一人として次のことを伺う。

サンビーチ廃止まで「サンビーチのいま」が発行され、最終号も出された。しかし、廃止に至るまでは広報紙等で情報発信をしていたが、廃止後の今はされていない。現在の状況についてこそ、情報発信すべきと考えるが見解を伺う。

答弁

昨年度に発行した「サンビーチのいま」では、サンビーチについて今後のあり方の検討を開始したことやサンビーチの運営や施設の状況、そして決定した今後の方向性の報告までを昨年8月10日の第1号から10月25日の第2号、本年1月10日の最終号の3回にわたり、お知らせをし

てきた。砂沼サンビーチ運営廃止後の情報発信については、施設の取り壊し時期や跡地の利用方法等でお知らせを必要とする事項が発生した場合、速やかに市議会に報告するとともに、市民に対しても広報紙や市ホームページなどを通じてお知らせしたいと考えている。

また、現在、市としては、施設の取り壊しを最優先し、県の開発公社と交渉を重ねているところである。本年5月に副市長をはじめ、関係課、都市整備課の職員とともに県の開発公社に赴き、改めて強く施設の取り壊しについて要望したところである。



砂沼サンビーチ廃止後の情報が求められている



程塚裕行 議員

二 括 方 式

庁舎等建設について

質問

市議会の庁舎等建設に関する調査特別委員

会では、5月に新庁舎の建設予定地にある下妻公民館と市民文化会館の耐震等について建築士会から講師を招いて話を聞いた。これを受けて、耐震性が確保されている建物と判定されている下妻公民館を壊して新たに庁舎をつくるのはいかがなものかと思う。大規模改修は難しいとの市の回答であるが、改めて大規模改修について伺う。また、建設予定地周辺の地盤強度についても伺う。

答弁

文化会館、公民館は建築後40年以上が経過し、文化会館は耐震性能不足のほか、消防用ポンプ発電機のエンジンの故障、空調関係、音響設備関係、舞台照明、吊り物等の老朽化、屋上防水劣化による雨漏り、ホール吊り天井裏の強度不足、クラック、



耐震性が確保されている下妻公民館

トイレのバリアフリー未対応などが大規模改修の対象であり、公民館は耐震性はあるが、同様に設備の老朽化が著しく、電気・機械設備の大部分が文化会館に依存している状況である。耐震化や大規模改修を実施したとしても、躯体自体の延命にはならず、下妻市公共施設等マネジメントに基づき、面積を削減し、地域交流センターとして複合化するものである。

地盤については、現庁舎、文化会館及び公民館建設の前に地質調査を行っているが、それぞれ同様な調査結果となっている。また、これから施設の周囲を見渡しても地盤沈下等は見られないことから、問題は無いものと考えている。



山中祐子 議員

二 括 方 式

県立中高一貫校について

質問

令和4年度には本市にある県立下妻一高も

中高一貫教育の対象になっている。県の施策ではあるが、急激な改革に不安の声も聞かれる。そこで、中高一貫校のメリット、デメリット及び希望する児童に対する指導について伺う。

答弁

中高一貫教育の一般的なメリットとして、中学・高校の6年間を見通した弾力的な教育課程の編成ができ、計画的・継続的な教育活動を行うことで生徒が興味・関心のある事柄を探究しやすくなり、また、異学年交流ができ、社会性や人間性を培うことができるといわれている。デメリットとしては、6年間の学校生活の当初は意欲的であるが、中だるみや生徒間の学力格差が広がっていく傾向があるといわれ、一人一人の興味の持ち方に変

化が出てくるため、幅広い教育を用意しておくかなければならないという課題もある。

市内では、毎年数名は地元以外の中学校を選択している。将来の夢を一人一人がそれぞれ描いており、多くの選択肢がある現状を考え、進路に関しては本人はもちろん、保護者の意向に沿った形で学校は相談に乗っている。ただ合格するのではなく、将来の夢への実現や学業、部活動などの視点を通して指導しているところである。

今後情報等をしつかり集め、本人と保護者が納得した上で、進路選択できるよう指導していきたいと考えている。



令和4年度から中高一貫教育が導入される下妻一高



塚越 節議員

二問一答方式

リノベーション社会の現に向けて、空き家及び古民家の活用について

質問

本市の空き家バンク制度の状況と空き家対策に民間活力を導入している先進事例への見解を伺う。

また、農地付き空き家について、規制により農地の取得ができない現状があるが、空き家バンクを通じた場合に要件を緩和している事例についても見解を伺う。

答弁

空き家バンク制度では空き家所有者からの問合せが21件、うち物件登録は4件、利用希望の問合せが20件、うち登録は11件であり、最終的に成約となった物件は2件である。本年度は固定資産税の納税通知書に空き家バンク制度のチラシを同封し周知を図った結果、所有者からの問合せが7件、うち物件登録は3件、利用希望の登録が3件となり、昨年度までの実績を上回っている。

また、空き家対策については、行政だけで解決できる問題ではなく、本市では宅建協会との連携により実施しているところで、さらなる導入については先進事例を研究し、検討していきたいと考えている。

次に、農地を耕作目的で取得される際には、農業委員会の許可が必要で、許可要件の一つに、農地の合計が一定の面積に達しない場合は許可できないと農地法に定められている。この下限の面積を一定条件のもと引き下げて取得を認める農業委員会が増えており、本市においても農地付き空き家を取得する際の下限面積の緩和についてニーズ等を把握しながら、導入に向けて関係課と検討を進めていきたいと考えている。

福井県あわら市訪問

令和元年7月13・14日の日程で、福井県あわら市において姉妹都市交流に関する視察を行って参りました。

表敬訪問及び姉妹都市交流会では、佐々木市長を始め、あわら市議会からは山田議長、吉田副議長、平野委員長、卯目委員長、森議員、杉本議員、執行部の方々にご出迎いただきました。

また、多賀谷左近三経公の墓所参りでは、多賀谷左近三経公奉参会の酒井会長を始め、役員の皆様より墓所の修繕の経過等のご説明をいただきました。さらに、金津まつりでは、中高生を中心とした武者行列や本陣飾りを視察し、開会式では菊池市長の挨拶後、参加した議員全員が紹介されました。

他にもあわら市内にある金津創作の森や北方湖等視察いたしました。佐々木市長から懇切丁寧なご説明をいただきました。

今回の視察で両市のより一層の友好関係が確認され、今後両市の交流がますます盛んになるよう市議会としても努力して参ります。



あわら市との姉妹都市交流会の様子

議会改革検討委員会 先進地視察

令和元年5月9日、取手市議会において民間動画サイトを活用した議会動画配信等について視察を行って参りました。

動画配信の他、タブレット等の議場の持ち込みや議場におけるプロジェクトの活用等の説明を受け、委員による活発な質疑、意見交換が行われました。

取手市議会では「市民のための議会」であり、事務局と議員の関係で目線を変えていくことが大切であり、10年後20年後の議会をどうしていきたいのかを考え、今努力することが大切なのではとの提案がありました。

今回の視察を通して、取手市議会の取組みを参考とし、市民に分かりやすい議会を目指して、今後の市議会に役立てていきたいと思っています。



取手市議会での視察の様子

行政視察来訪

鹿児島県始良市議会

● 日程 令和元年5月23日

● 内容

- ・ 土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例及び施行規則について
- ・ 新庁舎建設について



始良市議会産業建設常任委員会のみなさま

鹿児島県始良市議会産業建設常任委員会が行政視察のため、本市を訪れました。

視察内容に基づき、生活環境課より条例の概要と改正に至った経緯等について、財政課より庁舎等建設事業等について説明後、活発な質疑応答が交わされました。

富山県入善町議会

● 日程 令和元年6月24日

● 内容

- ・ にぎわいの拠点整備による中心市街地活性化のまちづくりについて
- ・ まちづくり市民グループしもつま3高の活動について



入善町議会総務常任委員会のみなさま

富山県入善町議会総務常任委員会が行政視察のため、本市を訪れました。

視察内容に基づき、都市整備課より事業の概要と運営の詳細、今後の展望について説明後、Waiwaidoomしもつまを視察し、活発な質疑応答が交わされました。

香川県綾川町議会

● 日程 令和元年7月4日

● 内容

- ・ 道の駅しもつまの運営について



綾川町議会建設経済常任委員会のみなさま

香川県綾川町議会建設経済常任委員会が行政視察のため、本市を訪れました。

視察内容に基づき、建設課より道の駅しもつまの概要と運営について説明後、道の駅しもつまを視察し、活発な質疑応答が交わされました。

長野県飯田市議会

● 日程 令和元年7月8日

● 内容

- ・ 地域の活性化、市街地再生によるにぎわいのある街づくりについて



飯田市議会産業建設常任委員会のみなさま

長野県飯田市議会産業建設常任委員会が行政視察のため、本市を訪れました。

視察内容に基づき、都市整備課より事業の概要と運営の詳細、今後の展望について説明後、Waiwaidoomしもつまを視察し、活発な質疑応答が交わされました。

議会日誌・次回定例会予定

5月				6月				7月			
9日	議会改革検討委員会 先進地視察(取手市)	10日	庁舎等建設に関する 調査特別委員会 月例会	20日	庁舎等建設に関する 調査特別委員会 議会改革検討委員会 茨城県西市議会議長 会第1回定例会	22日	行政視察来訪(始良 市議会)	23日	茨城県市議会議長会 理事会・定例会 議会運営委員会 関東市議会議長会定 期総会	27日	30日
3日	総務委員会	5日	文教厚生委員会	6日	経済建設委員会	7日	庁舎等建設に関する 調査特別委員会 第1回広報広聴委員会	3日	第2回下妻市議定会 定例会	14日	19日
1日	経済建設委員会行政 視察(境港市・安来 市)	3日	文教厚生委員会行政 視察(氷見市・輪島 市)	4日	行政視察来訪(綾川 町議会)	8日	広報公聴委員会行政 視察(中央市)	8日	行政視察来訪(飯田 市議会)	11日	13日
11日	茨城県市議会議長会 視察研修会(高崎市)	13日	姉妹都市交流事業 (あわら市)	19日	庁舎等建設に関する 調査特別委員会 第2回広報広聴委員会 議会改革検討委員会	22日	議会運営委員会行政 視察(八戸市・室蘭市)	29日	総務委員会行政視察 (滝沢市・紫波町)	31日	24日
24日	行政視察来訪(入善 町議会)										

次回第4回定例会予定

月 日	曜日	日 程
11月 6日	水	本 会 議 開 会 (会期の決定・諸報告・議案上程、説明)
11月 7日	木	本 会 議 (議案質疑) ----- 常任委員会 (総務委員会)
11月 8日	金	休 会 常任委員会 (文教厚生委員会)
11月11日	月	休 会 常任委員会 (経済建設委員会)
11月12日	火	休 会 予算特別委員会 (補正予算)
11月14日	木	本 会 議 (一般質問)
11月15日	金	本 会 議 (一般質問)
11月18日	月	休 会 (議事整理)
11月19日	火	本 会 議 (議案及び請願・陳情に対する委員長報告 質疑・討論・採決) 閉 会

※会期日程は、都合により変更になることがあります。

次回第3回定例会予定

月 日	曜日	日 程
8月23日	金	本 会 議 開 会 (会期の決定・諸報告・議案上程、説明)
8月26日	月	本 会 議 (議案質疑) ----- 常任委員会 (総務委員会)
8月27日	火	休 会 常任委員会 (文教厚生委員会)
8月28日	水	休 会 常任委員会 (経済建設委員会)
8月29日	木	休 会 予算特別委員会 (補正予算) 決算特別委員会
8月30日	金	休 会 決算特別委員会
9月 2日	月	休 会 決算特別委員会
9月 3日	火	休 会
9月 4日	水	本 会 議 (一般質問)
9月 5日	木	本 会 議 (一般質問)
9月 9日	月	本 会 議 (議案及び請願・陳情に対する委員長報告 質疑・討論・採決) 閉 会

議会を傍聴しませんか ～令和元年第2回定例会では、42名の方の傍聴がありました～

市議会では皆様の傍聴をお待ちしています。

傍聴は、市議会活動に触れる良い機会です。自分が選んだ議員の活動や市政の方針などを知ることができます。

傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎3階議場までお越しいただき、傍聴受付にて受付票に必要事項を記入し、所定の投函箱へお入れください。次回定例会も多くの方の傍聴をお待ちしております。

なお、議場内での飲食・雑談等のご遠慮ください。また、本会議開催中は、本庁舎1階市民ホールモニターで中継を行っています。次回の市議会だよりの発行は11月10日(日)の予定です。

議会だよりへのご意見などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

問合せ先 議会事務局 (0296) 43-2111 (内線 1111・1112)

令和元年12月8日 下妻市議会議員一般選挙が行われます

みんなで徹底しよう

三ない運動

贈らない!!

求めない!!

受け取らない!!

これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。

禁止されている寄附（例）

- × 病気見舞い
- × 祭りへの寄附や差入れ
- × 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入れ
- × 結婚祝、香典
(政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。)
- × 葬式の花輪、供花
- × 落成式、開店祝の花輪
- × 町内会の集会や旅行等の催物への寸志や飲食物の差入れ
- × 入学祝、卒業祝
- × お中元、お歳暮



◇ 全国市議会議長会

○ 10年以上勤続

松田 利勝

小竹 薫

(敬称略)

令和元年度の全国市議会議長会定期総会において、議員活動を通じて、永年地方自治の発展と市政の振興に貢献された功績により、次の方々が表彰されました。

永年勤続議員表彰



第74回国体デモンストレーションスポーツEボートが5月19日に行われ、下妻市議会チームが参加しました。

チームワークを発揮し、健闘するも、決勝進出とはなりませんでしたが、水上はとも爽快で楽しいものでした。

また、選手だけに限らず応援している方も力強くいきいきと大会自体を楽しんでいる様子もうかがえ、充実感を得た一日となりました。

第74回国体デモンストレーションスポーツEボート出場!

編集後記

今年は、例年になく全国から本市へ行政視察に来訪いただいております。

5月には、日本一の大クスのある鹿児島県始良市議会、6月には、全国名水百選に選ばれた豊かな水のある富山県入善町議会、7月には、うどん発祥の地として名乗りを上げている香川県綾川町議会、りんご人形劇で有名な長野県飯田市議会から本市にお越しいただき、情報交換等有意義な交流を図ることができました。

視察内容としては、土砂の埋立条例、新庁舎建設、都市再生整備事業(Waiwaiドームしもつま、さん歩の駅サンsunぬま)や道の駅しもつまなどでありました。

本市議会においても毎年、各委員会で全国の先進地へ行政視察に訪れておりますが、そのうちのある市を訪れた際、下妻市が千葉県にあると勘違いされておりました。

下妻市の認知度はまだまだであると痛感させられました。今後は「茨城県下妻市」そして下妻の「砂沼」「梨」「養豚」等、下妻の良い所を視察先でもっともっとアピールしていこうと決意を新たにいたしました。